



東京医学会第289回特別学術講演会
(第2835回集会)

分子細胞生物学専攻
代謝生理化学分野

栗原 裕基 君

講演日 : 令和6年3月14日(木)
時 間 : 15時00分~17時00分
(14時30分より退任記念コンサート)
場 所 : 医学部教育研究棟 鉄門記念講堂

講 演

医学と数学と芸術と

このたび東京大学大学院医学系研究科教授 栗原裕基先生は、令和6年3月末日をもちまして退任されることとなりました。

先生は昭和58年に東京大学医学部医学科を卒業後、東京大学医学部附属病院、三井記念病院で臨床研修をされた後、昭和62年に筑波大学基礎医学系薬理に国内留学し、エンドセリンの発見に主要メンバーとして携わりました。平成3年より東京大学第三内科助手、平成4年にスタンフォード大学に博士研究員として留学、帰国後も東京大学第三内科・循環器内科助手として、臨床・研究・教育に従事されました。平成12年に熊本大学発生医学研究センター胚形成部門細胞識別分野・教授として基礎医学に転進し、平成14年に東京大学大学院医学系研究科代謝生理化学分野・教授に就任されました。以後約20年間にわたり、心臓血管・頭部顔面の発生を中心に医学生命科学と数理科学の融合研究に取り組み、同分野の発展に尽力されました。教育面では、教務委員長などを務めながら医学部教育改革を推進する一方、学内の連携機構 ACUT や東京藝術大学との連携を通して、科学と芸術の交流活動にも尽力されました。

つきましては、最終講義として、その長年にわたるご造詣の一端を拝聴する機会を設けましたので、皆様のご臨席を賜りますようご案内申し上げます。なお、本講義に併せて、先生が顧問を務める「鉄門室内楽の会」の皆様によるミニコンサートを開催いたしますので、どうぞお楽しみ下さい。

令和6年1月

一般財団法人東京医学会